

# 事務所ビルの空調リニューアルに氷蓄熱システムを採用

この事務所ビルでは、空調の熱源としてガス吸収式冷温水機を使用していましたが、老朽化により保守費などがかさんできたため、空調設備のリニューアルに着手しました。

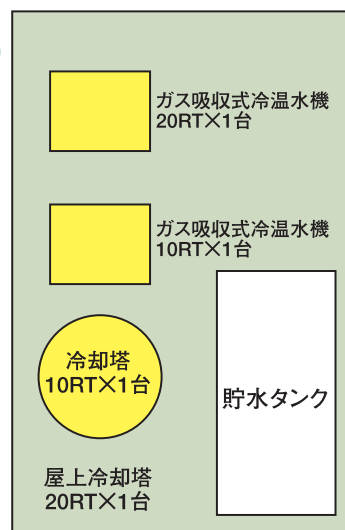
従来のダクト方式では、各部屋での温度制御や運転・停止に柔軟な対応ができないことから、リニューアルにあたっては、各部屋での個別制御が可能であること、また、環境性や経済性を考慮し、氷蓄熱ビルマルチ方式（エコアイス）を採用しました。

氷蓄熱方式の採用により、ピークシフト効果で非蓄熱方式に比べデマンドが抑えられ、受電設備を新たに設置せずすみしました。

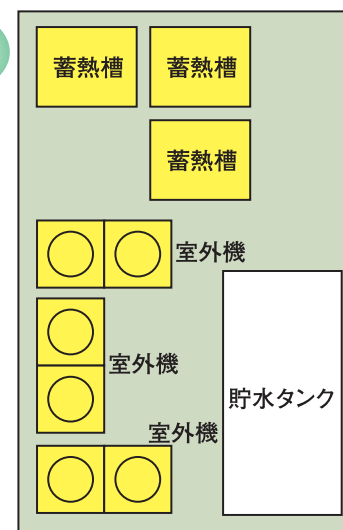
その結果、オフィス環境の改善とランニングコストの削減を図ることができました。

## システム図

改修前



改修後



## 改善効果

- ① 割安な夜間電力利用によるランニングコストの削減
- ② ピークシフト効果によるデマンドの抑制
- ③ 限られたスペース内でコンパクトに設置
- ④ 熱源転換によるメンテナンス費用の低減
- ⑤ 個別制御によるオフィス環境の改善

## 設備概要

- 氷蓄熱式空冷ヒートポンプ：
- 56kW×2台
  - 45kW×1台

